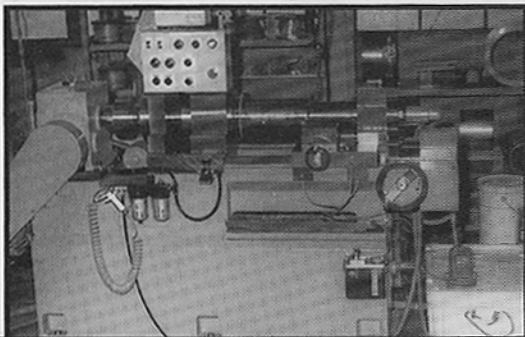


集束伸線法、溶融紡糸法、ワイヤ切削法などの従来の金属繊維の製造法とは全く発想の異なった方法による金属繊維の製造装置。0.02-0.3ミリ圧の金属薄板を円筒コイル状に巻き、端面を特殊刃物で一回転当たりの刃送り量0.005-0.06ミリの微少量で旋削することによって直径20-200ミクロンの金属繊維を得るもの。

この方法によれば、ステンレス鋼、銅、黄銅など多種類の金属繊維を製造することができるし、またコスト的には従来の方法によるものよりも約5分の1になるので、応用面でも新しい分野が開けるものと期待される。



薄板切削による金属繊維と
その製造装置